

泌尿器科用語集 第5版 小改訂にあたって

このたび泌尿器科用語集 第5版小改訂作業が行われた。前回の大規模改訂（2019 年 委員長：松山豪泰先生）からまだ4年が経過したところであったが、日本医学会用語委員会から遺伝様式に関する用語改訂（顕性遺伝、潜性遺伝）の決定がなされ、泌尿器科用語集にも反映させるにあたり、同時に第5版用語集で指摘されていた幾つかの修正点も含めた小改訂作業が理事会で承認され、今回の小改訂実施に至った。

作業に際しては収載全4965用語を8名の用語委員で分担し、まず誤植、修正・削除、審議が必要な用語を抽出し、リストを作成した。このリストをもとにまず可能な修正を加え、修正結果について委員会で複数回のメール審議を行い、最終修正案を作成した。最終的に修正174語、削除23語、新規追加56語となり、最終的な収載用語は5002語になった。今回の新規追加用語は、委員会審議で基礎や臨床の現状から必要性和重要度が高いと判断されたものに限定した。本格的な新規用語追加に関しては、各専門領域部会や関連他学会の用語委員会との情報交換など多段階の手続きが必要で多くの時間を要する作業になることから、次回改訂作業に委ねることになった。また今回は、以前から指摘されていた英数字表示語のアルファベット順記載への修正、用語集画面から問い合わせをする表示の搭載を行った。

学会用語集は日常診療でのカルテ記載や、論文作成時のみならず、ガイドラインや取扱い規約における使用用語の基本になるという役割があるため、用語委員会としてもその整備やアップデートには継続して注力していきたいと考えている。今回の小改訂作業で泌尿器科用語集の利便性が少しでも向上し、活用の促進につながれば幸いである。

最後に大変ご多忙中、今回の改訂作業を遂行していただいた全ての用語委員および協力委員の先生方、そして膨大なデータ処理作業を実施頂いた学会事務局の福田由美子様に深謝申し上げたい。

日本泌尿器科学会 用語委員会 委員長 井川 掌

日本泌尿器科学会用語委員会

（改訂第5版 小改訂版）

委員長

井川 掌（久留米大学）

委員

三井貴彦（山梨大学）

伊藤敬一（防衛医大）

白木良一（藤田医科大学）

安井孝周（名古屋市立大学）

溝上 敦（金沢大学）

斎藤誠一（琉球大学）

宮里 実（琉球大学）

協力委員

望月孝規（山梨大学）

堀口明男、黒田健司（防衛医科大）

糠谷拓尚、河合昭浩（藤田医科大学）

中根明宏（名古屋市立大学）

泉 浩二（金沢大学）

築井克聡、上村慶一郎（久留米大学）

仲西昌太郎、須田哲司（琉球大学）